

第4回新居浜市中学校選択制度検討委員会会議録

1. 日時 平成26年8月4日（月）13:30～14:30
2. 場所 新居浜市役所 3階 応接会議室
3. 出席者 委員 神野 康一 委員 能瀬 伸一
 委員 坂上 公三 委員 徳田 勝英
 委員 石井 孝允 委員 栗田 敬子
4. 欠席者 委員 本田 郁代 委員 渡邊 誠一
 委員 神野 年夫 委員 工藤 砂絵子
 委員 加藤 哲
5. 事務局 加藤 京子 高田 真由美 長井 秀旗
6. 傍聴者 なし
7. 議題 (1) 委員長あいさつ
 (2) 新居浜市中学校選択制度の今後のあり方（報告案）について
 (3) その他
8. 議事 開会 午後13時30分

事務局	<p>ただいまから、第4回新居浜市中学校選択制度検討委員会を開催いたしますのでよろしくお願いいたします。本日は欠席の委員さんが居られますが、事前に本日の委員会の決定事項につきましては、委員長に一任するとのご委任をいただいておりますのでご報告させていただきます。それでは開会にあたりまして、栗田委員長からご挨拶をお願いします。</p>
委員長	<p>第4回目の新居浜市中学校選択制度検討委員会にご出席をいただきまして、ありがとうございます。5月の第1回検討委員会からたいへん短い期間ではございましたけれども、非常に中身の濃い議論をいただきまして、今日の最終段階を迎えることができました。子どもたちを取り巻く環境ですが、いろいろな事件が起こって心配でございますが、いつの時代でも、子どもたちにとって学校が楽しくて充実したものになりますように、この検討委員会の議論の結果が、子どもたちや学校にとりまして、よりよい方向性に向かうことを是非とも期待いたしまして、最終報告を取りまとめたいと思います。本日が最後の委員会となりますので、言い残したことなどがございましたら、ご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

委員長	<p>それでは、議事に従いまして会を進めて参ります。最後の協議事項となりますが、新居浜市中学校選択制度の今後のあり方（報告案）について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お手元に最終の報告案をお配りしておりますのでお目通しをいただきたいと思えます。前回の委員会で委員の皆さまからご意見をいただきまして修正をしておりますので、まずはその部分について説明をいたしまして、その後、委員の皆さまからご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>まず1ページでございますが、選択制度が導入された背景やこれまでの教育委員会の取り組みの概要などをまとめています。中段のところですが、学校運営への地域住民の参画などに主眼が置かれていた、とさせていただきます。</p> <p>続いて4ページの現状と課題のところですが、前回の意見を踏まえまして、学校の選択等に際しては、生徒本人よりも保護者の考えが大きく影響しているという意見も多い、と書き加えています。次に成果でございますが、住所地から隣接する学校の方が距離的に近いということは通学の安全確保の面から成果のひとつとしていますが、部活動につきましては、前回の委員会で、現状のあり方については見直すべきというご意見が多数でございましたので、希望する学校や部活動を選ぶことができ意欲をもって学校生活を送れるという意見は多いが、学校の風聞や評判、さらにはより強い部活動を理由に学校を選択している現状が見られ、これを教育的成果に結びつけるのは難しいところもある、と見直しをさせていただきます。また、その他のところで、抽選については課題であるとさせていただきます。</p> <p>続いて5ページの検討委員会での意見のところですが、特定の学校への生徒の偏りについてのところで、公立の中学校なので、学習内容や施設、教職員に相当の差はない。どこの学校に行っても生徒本人次第でよりよい学校生活を送れるということを再認識したい、とさせていただきます。そして最後に、部活動も教育活動の一環であるが、選択制等によって一部の学校の強い部活動に選手が集中したり、逆に生徒の減によって廃部になるところもある。地域の子どもが地域の学校で部活動を頑張り、それを地域の人が応援するという本来の姿に戻すべきである、と書き加えています。</p> <p>続いて6ページの今後のあり方についてのところですが、学校選択制によって地域コミュニティの崩壊が危惧され、学校と地域との関係性の希薄化が進展していることは誠に憂慮すべき事態であるとする、という書き方にさせていただきました。それから、特に通学距離が近くなる場合などの通学の安全確保</p>

	<p>については、十分な配慮を要望する、とさせていただきます。本文中の修正部分については以上でございます。そのあと、審議の経過、資料、設置要綱、委員名簿をつかまして、本検討委員会の最終報告とさせていただきますのでよろしくお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。ご意見などがありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の検討委員会で、次の検討委員会では最終の報告案を議論するとのことだったので、兄は選択制度を利用して妹は選択制度を利用しなかった家庭の保護者に、選択制を利用したことがどうだったのか意見を聞いてみたのですが、その家庭では、選択制を利用しなかったほうがよかったかもしれない、という意見でした。なぜかということですが、その兄は1年生の時にはやる気もあって部活動の練習を熱心に行っていたのですが、2年生になって怪我也あったりして部活動を続けることができなくなった、ということと、1年生の時には休みの時には昔からの近所の友達と遊んでいたのが、2年生の中頃からはその友達と遊ばなくなり、近所に遊ぶ友達がなくなるという問題がでてきて、その保護者は選択制を利用したことは失敗だったという意見でした。選択制を利用した他の保護者も、どちらでもよかった、という意見が多数でした。学校から帰ってくると遊ぶ相手がないというのが現実のようです。学校で毎日顔を合わしている子どもが友達になっているというのが実情みたいですね。この検討委員会で選択制度の見直しを議論してきましたが、見直しの方向でよかったのではないかと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>あらためて地域の友達の大切さというものを考えさせられるご意見でしたが、ほかにご意見はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>この最終報告案のとおりとと思っていましたのでこれでいいと思います。この方向で進めていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり従来のかたちに戻るとというのが一番いいと思います。この検討委員会に参加させていただくようになりまして、選択制度を利用した保護者の方とどうだったのかという話をするのですが、ほとんどがよかったという返事が返ってきます。しかし、それは保護者の意見であって子どもからは話を聞くことは少ないです。そう思いたいということもあると思います。話し方のニュアンス</p>

	<p>などからは、そう思いたいのかなと思うようなこともあります。選択をしたけれども、地域の行事に参加できなくなるなどいろんなことがあったのではないかと思います。保護者が自分の選択は間違っていなかったと思いたいというように感じることもあります。本当に何がよかったのかは聞いていてもよく分からないのですが、小学校の時から同じ地域に住んでいても、別の中学校に行くことで話もしなくなりますし、地域の行事にもだんだんと参加しなくなってしまいます。地域で子どもを育てるということでは、本来行くべき地域の中学校へ行くのがいいのではないかと思います。経過措置で選択制度を利用して姉が在籍している弟妹はその中学校へ行くと思うのですが、今後、選択制度が見直しをされますと、これまでのように仲のいい友達と一緒にいくということができなくなりますから、進級というよりもどちらかという転校のようなイメージになるのではないかと思います。小学校の時の友達がいなくてから、そうなる新しい学校に慣れるのに時間がかかるという課題もでてくるのが考えられます。友達と一緒にいくことができなくなりますから、そういう子どもたちへの配慮やケアというものが新たに必要になってくるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。子どもたちが孤立しないような配慮は大事なことだと思います。</p>
委員	<p>これまでですと、何人かの友達が行くことができたので、中学校へ行ってもひとりではないという安心感があったと思うのですが、見直しによってそういうケースがなくなるわけですから、入学の時には大きな不安が生じるのではないかと思います。</p>
委員	<p>ある会合で、決定ではないけれども来年以降の中学校の選択については、もしかすればこういう方針になるかもしれない、という話をした時に、保護者の中には、えっ、という反応をされた方もいらっしゃるのですが、子どもたちは別にそれでいいんじゃないの、という感じでした。子どもたちは、みんなで同じ学校に行けばいいと思っているので、そんなに深刻な問題だとは思っていません。友達みんなと同じ学校に行く方がいいという意見が多いです。結局のところ、行くのは子どもですが、選択制を利用しているのは保護者なのではないかと思います。困ったと思っている子どもは少ないと思います。一部の保護者に深刻に考えている人はいますが、子ども自身はそうではないと思います。</p>

委員	<p>選択制度につきましては、これまでの話のように見直しの方向で進めていただきたいと思います。今後のことについて何点かお願いをしたいと思います。第1点は情報発信ですが、今回の選択制度の見直しを市内の保護者の方にどのように伝えていくのかということですが、保護者の方にはいろいろな意見があると思いますので、ぜひ丁寧な対応をお願いしたいと思います。次に、これは今後の課題になると思うのですが、小学校の選択制度についていろいろな問題点が出てきていると思います。小学校の時に選択をして学校に行けば、その小学校の通学区域に属する中学校に行けることになっていまして、それを見越して小学校の時に転校をしているケースもあるようです。今後は、小学校の選択制度につきましても何らかの検討が必要になっていると思います。最後になりますが、生徒数がだんだんと減少していく中で、学校施設などのことを考えますと、将来的には校区の見直しが必要になってくるのではないかと思います。それを計画的に余裕をもって進めていただければありがたいと思います。過去には校区が変更になったという例もあると聞いていますので、今後は、校区の境界線の引き直しも必要になると思います。小学校の問題や地域との問題など難しいところもあるのですが、生徒数の減少が続く中で見通しをもってこの問題についても検討を進めていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>小学校の問題につきましては、時間をかけてじっくりと検討していく問題だと思いますので、今後そのような対応をお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、検討委員会のまとめといたしまして、中学校の選択制度の導入から10年を振り返りまして、いろいろな課題がでてきていますことから、改めまして、地域とともにある中学校を目指していく重要性から、学校までの距離が近いという一部の地理的要件を残しまして、原制度を廃止する旨の最終報告とさせていただきます。</p>
副委員長	<p>中学校の選択制度につきましてはいろいろ意見があると思いますが、地域との関わりがなくなるということは大きな問題です。また、選択に際しては子どもよりも保護者の意見の方が強いのではないかと感じるころがあります。選択制度につきましては、かなり以前から廃止の方向の意見をたくさん聞いていましたので、今回、廃止に向けての考え方がまとまりましたことはよかったですと思います。小学校の問題につきましては、委員長さんの意見もありましたが、今後、教育委員会の中で時間をかけて議論を進めていただきたいと思います。</p>

委員長	<p>5月の第1回委員会から4か月という非常に短い期間ではございましたが、委員の皆さまには中学校選択制度の今後の方向性について、非常に質の高い、有意義なご審議をいただきありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。検討委員会で現中学校選択制度を廃止する旨の報告を取りまとめていただきましたので、今後は、その方向で事務を進めていきたいと思っております。短い期間ではありましたが貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。また、今後の課題ということで、小学校の選択制度や適正規模、校区の見直しなどの意見がございましたが、これらにつきましてはこれから教育委員会の中で協議を進めまして、よりよい方向に向けて議論を始めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>これまで委員の皆さまから貴重なご意見をいただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。委員の皆さまには、今後ともいろいろなお立場で、学校教育の充実発展に向けまして、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>この検討委員会の最終報告でございますが、後ほど教育長へ報告をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、皆さまのご協力により、この検討委員会の目的が達成できましたことに重ねてお礼を申し上げまして、委員会を終わりにしたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>閉会 午後14時30分</p>